

## ナルコティクス アノニマスの協力

NA以外の団体との関係については、伝統により指針が示されていますが、ナルコティクス アノニマスは、政府関係者、聖職者、支援機関、民間のボランティア団体などとの協力を惜しむことはありません。ナルコティクス アノニマスが多くの国でスタートし、成長できたのは、NAメンバー以外の友人たちの支援があったからです。

NAは、ナルコティクス アノニマスに関心を寄せて下さる方たちとの協力が叶うよう、問い合わせ先のリストや、NA文献、NAの回復に関する資料などを提供しています。また、メンバーが治療センターや矯正施設などに出向き、パネリストとして話をしたり、施設外部のミーティングには参加できない入所者のアディクトと、NAプログラムを分かち合ったりしています。

## メンバーシップ統計

メンバーの傾向や、プログラムの効果については、次のような所見がかなり正確であると考えられています。

まず、NAメンバーが多く見られる社会・経済階層は国によってさまざまです。多くの国では、最初に、ある特定の社会層、あるいは経済層の人たちがNAを立ち上げ、全国的な展開を進めていますが、やがて効果をあげ、いろいろな人たちに行き渡るようになると、メンバー構成も広がり、メンバーの中に幅広い社会・経済階層の人たちが見られるようになります。

NAには、あらゆる民族やあらゆる宗教の人がいます。NAの全国的な展開がある一定レベルにまで成熟すると、メンバー構成も、その国の背景文化——多様性もしくは同一性——を反映するようになってきます。

ナルコティクス アノニマスのメンバーになるかどうかは、各自が自由意志で決めることであり、NAでは参加者の記録を取って、NAの目的のために、あるいはどこかの機関のためにその記録を使用したりすることはありません。そのために、せっかく関心を持っていただいても、NAのメンバー構成について総括的な情報をお届けするのは難しいのですが、NAのワールドコンベンションに参加したメンバーに協力を依頼したデータに基づく客観的な指標であれば示すことができます。メンバーの多様性については、その調査の、民族性についての結果から、世界的な広がりが示されるのではないのでしょうか。以下のデータは、2003年にカリフォルニア州サンディエゴで開催されたNAワールドコンベンションに参加した、1万3千人の参加者の約半数から提出された回答により、明らかになった結果です。

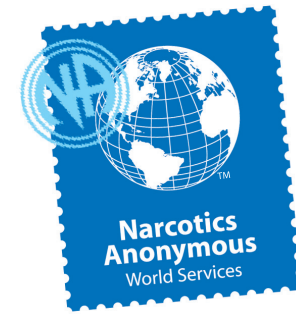
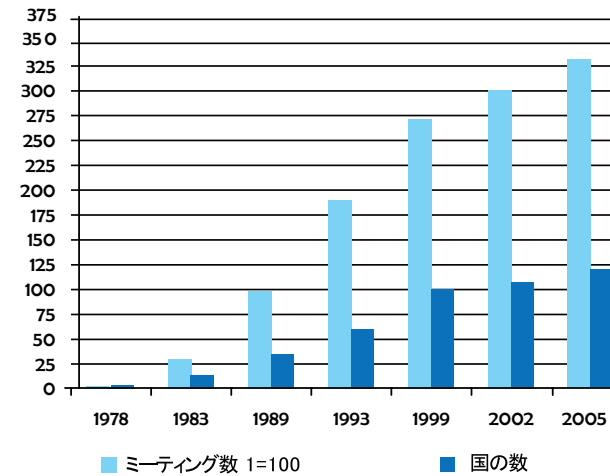
- 性別： 男性55%、女性45%
- 年齢： 20歳以下—3%、21～30歳—12%、31～40歳—31%、41～50歳—40%、51歳以上13%、無回答1%
- 民族性： 白人70%、アフリカ系アメリカ人11%、ラテンアメリカ系の人11%、その他8%
- 雇用形態： 常勤72%、パートタイマー9%、無職7%、引退3%、家事3%、学生5%、無回答1%
- 回復(クリーン)の期間： 1年以下から40年まで。平均7.4年

## NAの伸び率

参加者の記録を取っていないため、ナルコティクス アノニマスにつながった人たちの何割が長期にわたってNAで積極的に活動を続けているかを予測することは不可能です。このプログラムの成功を示す明確な指標があるとすれば、それは、この数十年に登録されたナルコティクス アノニマスのミーティング数の急速な増加と、北米以外の各国への急速な広がりでしょう。

- 1978年には、NAは3ヶ国にしかなく、登録されたグループ数は200に満たなかった。
- 1983年には、十数ヶ国で2,966回のミーティングが行われていた。
- 1993年には、60ヶ国で13,000以上のグループが19,000回以上のミーティングを行っていた。
- 2002年には、108ヶ国で20,000グループが30,000回以上のミーティングを行っていた。
- 2005年には、116ヶ国で21,500以上に及ぶグループが33,500回以上のミーティングを毎週行っている。

## NAの発展



## NAについて

ナルコティクス アノニマス(NA)は、薬物依存からの回復を目指す薬物依存者(ドラッグアディクト)の、国際的かつ地域に根ざした集まりで、世界116カ国以上で、毎週33,500回を越すミーティングを行っています。



Copyright © 2006 by  
Narcotics Anonymous World Services, Inc.  
複製、転載を禁じます

**NA World Services, Inc.**  
PO Box 9999  
Van Nuys, CA 91409-9099 USA  
Tel: +1/818.773.9999 Fax: +1/818.700.0700  
Website: [www.na.org](http://www.na.org)  
Item No. ZPR001002

Narcotics Anonymous World Services, Inc.  
PO Box 9999 – Van Nuys, CA 91409 USA  
Tel. +1/818.773.9999 Fax +1/818. 700.0700 Website: [www.na.org](http://www.na.org)

World Service Office—EUROPE 48 Rue de l'Été B-1050 Brussels, Belgium Tel. +32/2/646-6012 Fax +32/2/649-9239	World Service Office—CANADA 150 Britannia Rd. E. Unit 21 Mississauga, Ontario, L4Z 2A4, Canada Tel. +1 905.507.0100 Fax +1 905.507.0101	World Service Office—IRAN No. 12, Far Valley, Farhang St. Tehran, Iran Tel. +21 8842 1408 Fax +21 8845 9671
---	---	---

## NAのあゆみ

ナルコティクス アノニマス（NA）は、1940年代の終盤に、アルコールクス・アノニマスのプログラムに参加していた人たちの中から生まれ、1950年代に入って、米国カリフォルニア州ロサンゼルスで最初のミーティングが開かれました。当時は、アメリカ国内だけのごく小さな運動として始まったNAプログラムでしたが、現在では、世界最古かつ最大の国際的な団体のひとつにまで成長しています。

スタート当初は何年もの間、NAにあまり大きな動きは見られず、ロサンゼルスから北米の主要都市やオーストラリアにまで広がったのは、1970年代になってからのことでした。ところが1983年に、ナルコティクス アノニマスという名称をタイトルにしたベーシックテキストが出版されると、それが起爆剤となり、それからわずか数年のうちに、ブラジル、コロンビア、ドイツ、インド、アイルランド共和国、日本、ニュージーランド、英国で、次々とNAグループが誕生しました。

現在NAは、南北アメリカ、西ヨーロッパ、オーストラリア、ニュージーランドのほぼ全域に定着し、さらに、新グループや、国や地域規模のNAが、インド亜大陸、東アジア、中近東、東ヨーロッパの各国にも広がっています。ナルコティクスアノニマスの書籍やパンフレット類はすでに27ヶ国語に翻訳されており、さらに現在16ヶ国語への翻訳作業が進行中です。

### プログラム

メンバーの間で『ホホワイトブック』と呼ばれている、NAで最初に発行された『ナルコティクス アノニマス』というパンフレットの中で、NAはこう説明されています。

「NAは**薬物が深刻な問題となった者たちの非営利的な集まり**、いわゆる会である。私**たちは回復の道**を歩む**アディクト**であり、定期的に集まって**お互いがクリーン**でいられるよう**手助け**し合っている。(略)あなたが何をどのぐらい使ったか(略)ということに**私たちは興味を持たない**。私**たちに関心があるのは、あなたは、今抱えている問題をどうしたい**と思っているのか、**私**たちはそれをどうやって手助け**できるのか**ということだけだ」

薬物依存者(ドラッグアディクト)であれば誰もがメンバーになることができ、どう**いうドラッグ**を使ったか、何と何を併用したかといったことは問題にされません。NAは、AAの第一ステップにある「アルコール」を「アディクション」という用語に置き換えたことで、ドラッグを特定するような表現を排除し、アディクションの「病気の概念」を前面に出すようにしました。

NAのメンバーになるための制約は一切なく、社会的地位、宗教、経済状態、人種、民族、国籍、性別、階級などは、まったく問われません。入会金も会費もなく、ミーティングにかかる経費は、多くのメンバーが定期的に行う小額の献金で賄われています。ただし、その献金も強制ではありません。ナルコティクス アノニマスが提供しているのは、回復と、回復に欠かすことのできない支え合いのネットワークです。NAが成功している鍵は、アディクトが仲間のアディクトと共に回復に取り組むことの治療的な価値にあるでしょう。メンバーは、アディクションから回復するためにどういうことをしたか、どうしたらうまくいったかを、また、現在、NAの十二のステップと十二の伝統に表された原理を日常生活に当てはめながら、薬物から解放された実りある有意義な人生を、どう送っているかを、お互いに分かち合っています。十二のステップと十二の伝統に示された原理は、ナルコティクス アノニマスの回復のプログラムの核心ですが、ステップに盛り込まれた原理を大まかに示すと、次のようになります。

- 問題があることを認める**
- 助けを求める**
- 徹底的に自己分析を行う**
- 信頼できる人に自分のことを打ち明ける**
- 傷つけた人に埋め合わせをする**
- 回復を望んでいる薬物依存者(ドラッグアディクト)の手助けをする**

ナルコティクス アノニマスのプログラムの中心にあるのが、スピリチュアルな原理の実践ですが、ナルコティクス アノニマスそのものは宗教ではありません。メンバーはみな、自分なりに「スピリチュアルな目覚め」についての理解を培ってみるようにと提案されています。それは、自分の宗教を通した理解であっても、そうでなくても構いません。

ナルコティクス アノニマスは、どのような機関や団体にも、また、NA以外の十二ステッププログラムや、治療センター、矯正施設にも、加盟していません。NAという集まりが、プロのカウンセラーやセラピストを雇うことはありませんし、入所施設の提供や、クリニックの運営も行いません。さらに、職業紹介、法律相談、資金援助、精神科治療や医療サービスなども、NAは行いません。NAの使命は、依存者(アディクト)がお互いに助け合っ**てドラッグの使用をやめ、新しい生き方を見出す環境**を提供すること、それだけです。

ナルコティクス アノニマスでは、メンバーはまず、アルコールを含むあらゆるドラッグを一切使わないことか

ら始めていきます。NAメンバーたちの経験によれば、完全に、しかも継続して薬物を使わないことによって**はじめて、回復の基盤が確実に築かれ、人間としての成長が促される**のです。NA全体としては、外部の問題には意見を持っていませんが、それは処方薬についても当てはまります。精神科の治療薬や、医師の処方**で指示された薬**を医師の管理のもとで服用することが、NAでの回復を損なうものだとは見なされていません。

### サービス機構

ナルコティクス アノニマスが提供している何よりも大切なサービスは、NAグループが行っているミーティングです。ミーティングは、世界中のどこのNAにも共通した原理に基づき、各グループが自主的に運営しており、その原理については、NAの文献に詳しく説明されています。

多くのグループは、公共施設や、宗教団体、市民団体などの会場を借りて、ミーティングを開いています。NAミーティングの司会はメンバーが行い、それ以外のメンバーは、薬物依存(ドラッグアディクション)からの回復の経験を順番に分かち合っています。また、ミーティング運営に関する活動についても分かち合われます。

ナルコティクスアノニマスが生まれたばかりの国では、NAの機構といっても、まだグループしかないところが多いのですが、すでに多数のグループが誕生して定着している国や地域には、地域単位のサービス委員会(ローカルサービスコミティ)があり、その中から代表者(デリゲイト)が選出されています。地域単位の委員会(ローカルコミティ)が提供しているサービスはさまざまですが、たとえば以下のようなものが挙げられます。

- NA文献の配布**
- 電話サービス**
- 治療スタッフ、市民団体、政府機関、学校などに向けた広報(PI)プレゼンテーション**
- 治療施設や矯正施設の入所者にNAプログラムを知ってもらうためのパネルプレゼンテーション(担当メンバーによるNAについての説明)**
- 仲間向けに、あるいは関係機関向けに、ミーティング案内の作成**

国によって事情は違いますが、特に比較的大規模で、すでにナルコティクス アノニマスが確立しているような国では、各地域の委員会(ローカルコミティやエリアコミティ)が協力し合っ**て、国および地方単位の委員会(リージョナルコミティ)**を編成しています。このリージョナルコミティは、広大な範囲に及ぶ国や地方のサービスを行

い、一方、ローカル／エリアコミティは地域のサービスを担当しています。

代表者(デリゲート)が集まる国際会議は、ワールドサービスコンファレンスと呼ばれ、NA全体に影響を及ぼす問題についての指針を提供しています。NAの世界的なサービスの中で最優先すべきことは、新興国家におけるNA誕生の動きの支援、そしてナルコティクス アノニマスの文献の翻訳です。さらに詳しい情報については、カリフォルニア州ロサンゼルスにあるワールドサービスオフィスヘッドクォーターにお問い合わせ下さい。このパンフレットの最後に、住所、電話番号、Fax番号、ホームページアドレスが掲載されています。

### 関連問題や施設に対するNAの立場

ナルコティクス アノニマスは、その目的に専心できるよう、NA以外の団体については支持も承認もせず、またNA以外の活動についても、いかなる見解も持たないという伝統を築き上げてきました。ナルコティクス アノニマスは、市民問題、社会問題、医療／法律／宗教問題について意見を持たず、賛成の立場も反対の立場も取っていません。さらにNAは、アディクション関連の問題、たとえば、犯罪行為、法的処置、ドラッグの合法化あるいは処罰、売春、HIV／HCV(C型感染ウィルス)感染、また、シリンジプログラム(注射針共用による感染を防止するプログラム)などについても意見を持っておりません。

ナルコティクス アノニマスは経済的に完全に自立しており、メンバー以外の方からの寄付は受け付けておりません。同様の原理に基づき、グループもサービス委員会(コミティ)も、NAメンバーが運営し、NAメンバーのために活動しています。

ナルコティクス アノニマスはまた、すべての団体の理念や方法論について、支持も反対もしないという立場を取っています。だからといって、ナルコティクスアノニマスが、NA以外の団体はみな、価値もなければ立派でもないと考えているわけでは決してありません。NA本来の能力は、薬物依存者(ドラッグアディクト)たちが回復と経験をお互いに分かち合える足場を提供することに限られています。論争によってNAが、NAの限られた目的から目をそらすことのないよう、すべてのエネルギーをNAの目的だけに絞っているのです。同様に、各団体がそれぞれの目標を達成することについては、その団体を尊重して、すべてを委ねているのです。